

富津市部活動地域展開協議会会議録（要旨）

1 会議の名称	令和7年度第3回富津市部活動地域展開協議会
2 開催日時	令和8年2月16日（月）17時00分～18時30分
3 開催場所	富津市役所 4階 401会議室
4 審議等事項	<p>議案第1号 富津市認定地域クラブ研究指定事業について</p> <p>議案第2号 富津市休日部活動の地域展開に関する推進計画について</p> <p>報告第1号 部活動地域展開について（南房総教育事務所管内市町の状況について）</p> <p>報告第2号 国の方向性・本市の現状について</p>
5 出席者	<p>〔会 長〕 教育部長 中山 淳子</p> <p>〔委 員〕 スポーツ協会会長鈴木充、佐貫クラブ 会長周東和之、スポーツ少年団本部長吉本充、校長会代表磯部正史、長谷川潤、小中体連代表高鍋元博、学識経験者多賀克之、保護者代表川名宏幸、篠田生涯学習課長、長谷川栄公民館長、川島教育センター所長、池田教育センター指導主事</p> <p>〔事務局〕 教育センター 池田圭佑</p>
6 欠席者	細谷学校教育課長・菅野委員
7 公開又は非公開の別	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">公開</div> ・ 一部非公開 ・ 非公開
8 非公開の理由	（理由）
9 傍聴人数	2 人
10 所管課	<p>（部 課 係） 教育部学校教育課教育センター</p> <p>（電話番号） 0439-80-1346</p>
11 会議録	別紙のとおり

(会議前諸連絡) 資料確認等  
(開会の言葉)  
(教育長挨拶)  
(協議会会長挨拶)

報告、説明

(1) 南房総教育事務所管内や県内の進捗状況 (今宮コーディネーター)

- ① 市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、鋸南町、南房総市、館山市、鴨川市の状況説明。
- ② 広報活動の強化、部活動指導員の活用、冬期を中心とした陸上教室等、自治体によって様々な進捗状況。

(2) 国の方向性・本市の状況について

国のガイドライン概要

- ① 令和8年度～令和13年度を改革実行期間とし、令和13年度までに休日部活動は原則地域展開を目標とする (中山間地域や離島等、部活動地域展開が困難な地域は当面の間、部活動指導員の活用を推奨)
- ② 地域クラブ活動の認定制度を整備し、活動時間・休養日・安全管理などについて検討していく。
- ③ その他、部活動の在り方、地域展開の円滑な推進に当たっての対応等がガイドラインに示されている。

富津市の現状

○各中学校に部活動指導員を1名 (市内で3名) 配置、外部指導者は市内で約15名。

○PTA・スポーツ団体への説明、広報紙での周知を実施。

○部活動指導員、部活動外部指導者 (無償) への学校からの意見としては、部活動指導員の配置は「顧問がいなくても指導できるので、部活動指導に役立つ」と意見がある。一方で、部活動外部指導者 (無償) は「人材バンクに登録いただいている方の種目と、学校側のニーズが合わない場合もある」という課題もある。

議事

(1) 認定地域クラブ研究指定事業について

- ① 研究指定としてモデル事業を実施し、部活動の形をとりながら、今後地域展開を進めていくと仮定した場合、どのような課題が出るかの検証を1年間行う。月ごとに課題を報告し、来年度以降の部活動地域展開協議会等で検討する。

※研究指定の部活動が、今後すぐに地域展開されるわけではなく、検証が目的の研究指定事業である。

- ② 想定される課題：受益者負担制度、指導者報酬、保険加入、他部署との連携など。

(2) 休日部活動地域展開の推進計画(案)について

①令和7年度第2回部活動地域展開協議会のものを基本とした推進計画(案)である。

※各校で複数の地域クラブ→市内で複数の地域クラブ等の修正(学校単位では、範囲がせまく、地域クラブが実現困難なため)

(3) 委員からの主な意見

(1) の認定地域クラブ研究指定事業についての意見等

ア 指定部活動以外にもモデル参加希望の団体がある場合は、複数の試行でもよいのではないか。

イ 地域理解の促進、活動場所の確保が重要。

ウ 事例をあげて検証していくのは、よい方法。

(2) 部活動地域展開の推進計画(案)についての意見等

ア 年度ごとの認定数を固定しなくてもよいのではないか。

イ 今後目指す地域クラブは、学校単位ではなく、広い範囲から中学生が集まってくるのが理想。

(閉会のことば)